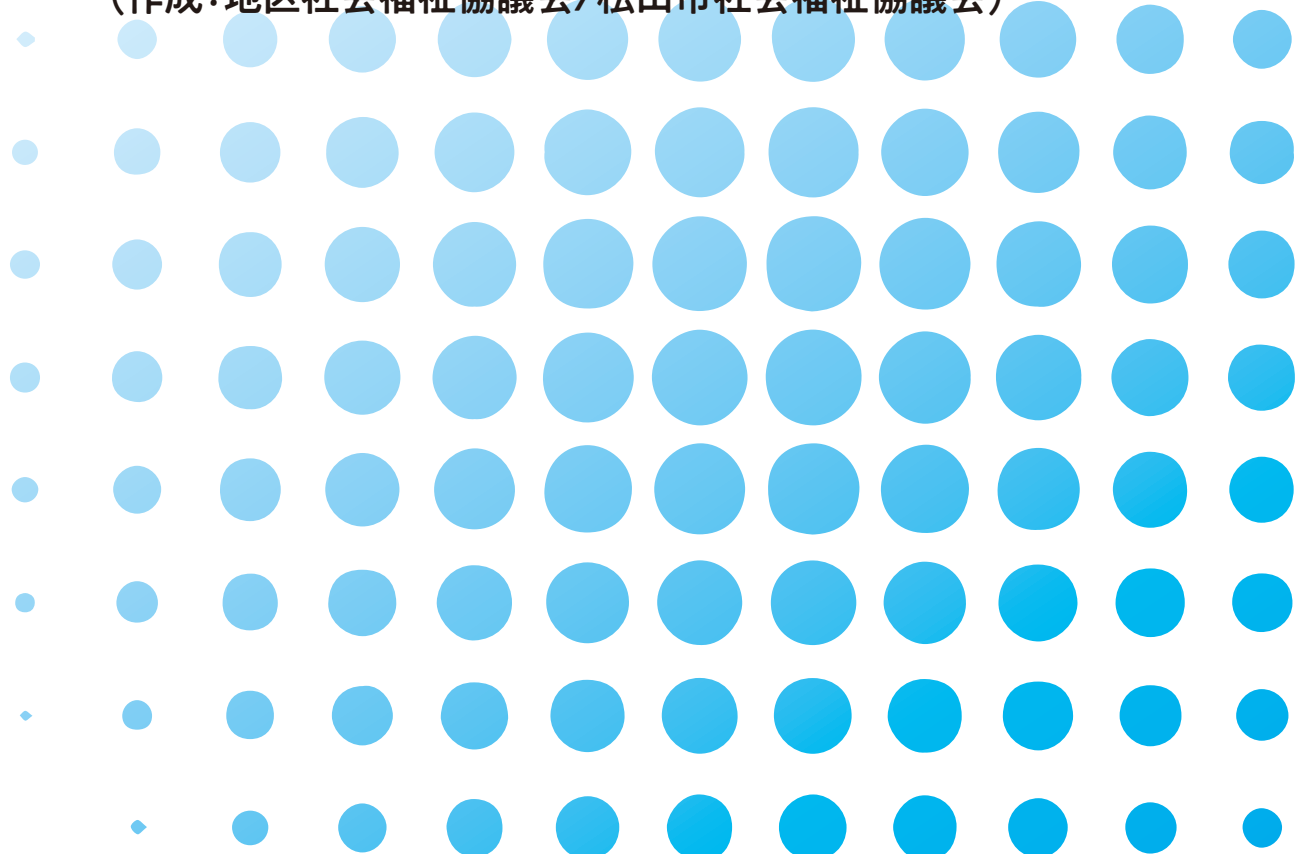




～地区ごとにみる地域特性～

(作成:地区社会福祉協議会/松山市社会福祉協議会)



『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々での自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区 (P78)
	伊台地区 (P80)
	湯山地区 (P82)

第2	久米地区 (P84)
	浮穴地区 (P86)
	小野地区 (P88)
	石井東地区 (P90)
	石井西地区 (P92)
久谷地区 (P94)	

第3 A	番町地区 (P96)
	八坂地区 (P98)
	東雲地区 (P100)
	素鷲地区 (P102)

第3 B	道後地区 (P104)
	湯築地区 (P106)
	桑原地区 (P108)

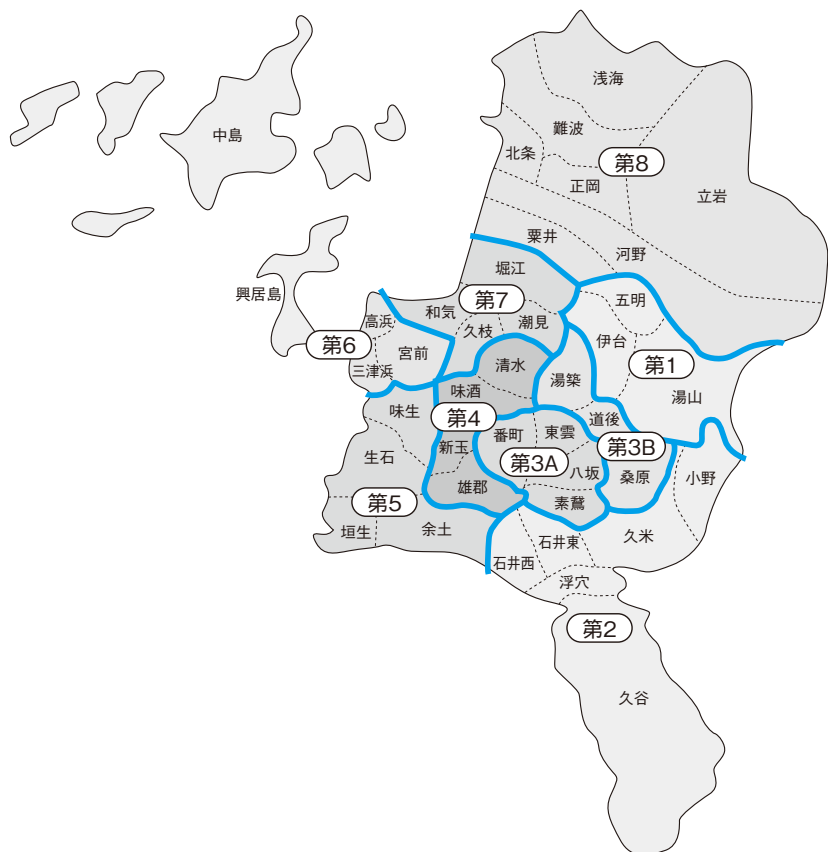
第4	雄郡地区 (P110)
	新玉地区 (P112)
	清水地区 (P114)
	味酒地区 (P116)

第5	余土地区 (P118)
	垣生地区 (P120)
	生石地区 (P122)
	味生地区 (P124)

第6	宮前地区 (P126)
	三津浜地区 (P128)
	高浜地区 (P130)
	興居島地区 (P132)
	中島地区 (P134)

第7	潮見地区 (P136)
	久枝地区 (P138)
	和気地区 (P140)
	堀江地区 (P142)

第8	浅海地区 (P144)
	立岩地区 (P146)
	難波地区 (P148)
	正岡地区 (P150)
	北条地区 (P152)
	河野地区 (P154)
	栗井地区 (P156)



『地域カルテ』の見方


ごまよう 五明地区

人口: 426人(高齢化率48.8%)
世帯数: 225世帯

【地区の特色】
五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と昼夜の温度差がある立地条件を生かし、古くからぶどう栽培に取り組んでいる。また、五明太鼓などの芸能文化の伝承を後継者に託し、地区内には源氏ボタルが自然発生する「五明川」が流れており、地域「**①地区の概要**」に記している。



五明小学校児童による五明太鼓と獅子舞



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りが多く、どこ誰か把握できる ・個人でゴミ捨てや買い物助け合いをしている ・車で通勤・通学時間は遅くも無く20分～30分で市内中心部へ行ける ・自然が豊かで季節感を肌で感じることができる ・自主防災と連携し災害時の避難の仕組みを作っている ・まち協ができ、地域団体との連携が取れている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢家庭・子どもが多い ・交通の便が悪く、バスによるバスの廃線 ・イノシシ、シカなどの害獣による被害
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と少子化(児童減少で小学校の存続が心配) ・交通の便が悪い ・金融機関が遠い ・車の往來ににくい狭い道や、豪雨のたびに崩落が起きる悪路がある ・空き家、空き地も多くそうじが行き届いていない、活用できていない、危険 ・災害時の危険箇所が多い ・在宅で生活し続けることが難しい ・集落によって課題の深刻度合いが異なる

②地域住民からみた地域の状況

③地区社協の概要と取り組み

五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き	
構成団体	地区民協・区長会・まちづくり協議会・公民館
主な取り組み	活動内容
福祉弁当	75歳以上の高齢者を対象に、安否確認を兼ねた見守りも含め、4月にたけのこごはんを作り配布しています。
夏休み大清掃	小学生が気持ちよく二学期を迎えることができるよう、通学路および小学校周辺を地域の方で清掃しています。
シクラメン配布	75歳以上の独居高齢者、90歳以上の高齢者にシクラメンをプレゼントしています。

福祉学習事業の一環として、公民館でまちづくり協議会、民生委員・児童委員と連携し、田植えから稲刈り、もちつき、しめ縄作りまでの各種農作業を通して児童の教育と地域の幼稚園児から高齢者までの交流を支援しています。

<地区社協が目指すもの>
五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、敬老会、さくらまつり、ほたるまつり、盆踊り大会、地区運動会、しめ縄づくり、もちつき、ふる里まつりなどの地域行事と並行した社協活動の実施を基本方針としています。
今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の強化を目指してまいります。

④地区内関係団体データ

地区民協	10団体
まち協の設立	0クラブ
町内会等	0団体
高齢クラブ	5組織
子ども会	
自主防災組織	

人間関係の希薄化が懸念される現在において、五明地区では互いの顔を知り助け合いのできる関係が維持されています。このような関係性があるからこそ、地域を守る自主防災訓練のほか、お祭りや運動会などの開催も地域行事が継続されているといえるでしょう。中心部から離れた五明地区には、子どもや小学生と田植えなどの農作業体験活動などが積極的に行われている地域も数多くあります。地域の大人たちに支えられている子どもたちも、地域の一員として、地域を支えようという強みを生かして、様々な世代が地域での活動を支え楽しめる環境づくりが期待されています。

⑤地域福祉推進のポイント

①地区の概要

- ・人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査(基準日:令和5年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(令和5年7月1日現在)
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数(令和5年5月1日現在)
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(令和5年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏